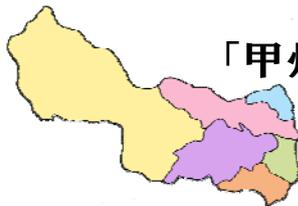




周りの木々の緑も、日に日に色濃くなってきました。7月に入り、いよいよ夏到来です。図書館では、今年の夏を楽しく過ごしていただくための資料を数多く取りそろえています。ぜひ、お気軽にご利用ください。



「甲州財閥の巨頭」

若尾逸平

甲州財閥の巨頭として知られる若尾逸平は、1820年（文政3年）、在家塚村の農家に生まれました。

1837年（天保8年）に、武士を志し江戸に向かいましたが、挫折して故郷に帰り、葉煙草の行商を始めます。この時、品物を天秤棒一本で担いで売り歩くという商法が成功しました。

その後、横浜港が開港すると横浜へ進出し、生糸・水晶などの売買により巨万の財を得ました。また、現在の山梨中央銀行の前身である、第十国立銀行の設立時にも、最高額を出資し、県内第一の富豪と目されました。

1889年（明治22年）には、初代甲府市長、翌年には県内初の貴族院議員にも当選。この頃から、巨大な財力を背景に、積極的に中央進出を企てました。「株式は、“あかり”と“乗りもの”に限る」と、当時の成長産業に目を向けて東京鉄道株式会社や、東京電燈株式会社などに投資して成功を収めました。これにより、甲州財閥の名が財界にとどろくようになりました。

その一方、地元にも多くの功績を残しています。釜無川に開国橋がかけられたときには、自身の行商時代の苦労を思い、この地方の人々の発展のためにと多くの寄付をしています。

天寿をまっとうして、1913年（大正2年）に94歳で亡くなりました。

若尾逸平に関する本

『若尾逸平』 内藤文治良

『郷土史に輝く人々第2集』 青少年のための山梨県民会議

『白根桃源美術館で中沢年章の「若尾逸平一代図屏風」

を見て、若尾逸平ゆかりの地を歩く』 まちミュー友の会 ほか



南アルプスが誇る偉人 No.1

かつやくする

図書館ボランティアのみなさん

市立図書館では、行事のとき、多くのボランティアのみなさんにご協力をいただいています。内容は、「おはなし会」での読み聞かせ、「図書館まつり」「朗読会」の出演まで様々です。

このコーナーでは活躍していただいているボランティアのみなさんを紹介していきます。第1回は櫛形図書館のボランティアのみなさんです。



すずの会

代表 望月紀子 会員 18人

活動内容

広報の朗読や、ディサービスでの朗読を行っています。

図書館主催の朗読会「いきやりどころ」への出演は10年以上、44回も続き、毎回多くのお客様に楽しみにいただいています。



でんでんむしの会

代表 齊藤順子 会員 6人

活動内容

「そよかぜこどもまつり」などの、図書館行事で、人形劇や大型紙芝居などを行っています。

「11ぴきのねこ」「わたしのワンピース」などたくさんのレパートリーで、子どもたちに大人気です。



ききみずきんおはなしの会 (櫛形)

代表 倉本末津子 会員 24人



活動内容

毎週土曜日の幼児向けの「おはなし会」、毎月第1火曜日の乳幼児向けの「おはなし会 0.1.2.」などで、読み聞かせやパネルシアターなどを行っています。

おはなし会は多くの親子づれでにぎわっています。



ぐるーぷ ふわふわ

代表 猪狩 紀美子

会員 3人

活動内容

手袋人形、絵本キャラクター人形などを製作しています。

図書館キャラクター「ライライ」の人形は人気者です。



「南アルプス市子どもの読書活動推進計画 第2次」の概要 (平成24年度～28年度)

南アルプス市では、未来を担うすべての子どもたちが読書する楽しみ、喜びを実感し、自主的に読書を行うことができるよう、家庭、地域、学校等と連携を図りながら、積極的に子どもの読書活動に取り組めるよう前計画をふまえ第2次計画を策定しました。

子どもの自主的な読書活動の推進

家庭、地域、図書館、学校等の連携

計画のめざすもの

子どもが読書に親しむ環境の整備

子どもの読書活動に関する理解と関心の普及

前計画における成果と課題

成果

- ・ブックスタートをきっかけに、わが子に本を読んであげる家庭が増えている。
- ・すべての保育所、幼稚園で読み聞かせを日常的に行っている。
- ・平成22年度子育て創生事業により保育所にたくさんの本が入り、図書コーナーを設置し、園児の家庭へ本の貸出を行っている。
- ・1ヶ月間に5冊以上本を読んだ小中学生の割合が、前回の調査より上回っている。
- ・すべての小中学校で一斉読書を実施し、様々な機会を捉えて読み聞かせを行うなど読書活動に取り組んでいる。
- ・各図書館では、図書館ボランティアと協働したおはなし会や読書まつりなどをとおして本の楽しさを伝え、読書の習慣づけを行う事業を展開している。

課題

- ・保育所や地域、子育て支援の場などあらゆる機会を通じて取組みを推進する。
- ・家庭における読書を保護者に呼びかけ啓発活動に努める。
- ・幼稚園、高校とも連携を図り、行政、地域との連携をさらに進める。
- ・中高生を対象とした利用促進のための図書紹介や図書館サービスについての情報発信を行っていく。
- ・学校では、学年に適した読書への働きかけや読書の時間の確保に努め、子どもの主体的、意欲的な学習活動・読書活動を充実させる指導をさらに行う。
- ・図書館ボランティア等、市民による子ども読書活動推進への支援を続け推進していく。

子どもの読書は、言葉を学び、想像力を高め、豊かな生活体験を与えてくれます。また、読書から知り得た世界は、創造性や生きる力の基本となります。子どもの成長において、豊かな心を育み、健やかな成長を促すための起因となり、極めて重要な役割を果たします。

具体的な取り組み

●家庭

- ・家庭における読み聞かせなどの読書活動の推進
- ・地域と連携した読書活動の推進
- ・子どもたちが身近なところで読書ができる環境整備の推進



●市立図書館

- ・年齢に応じた子ども向けサービスの推進
- ・障がいのある子ども向け、外国籍の子ども向けサービスの推進
- ・子どもにかかわる大人向けサービスの推進
- ・子どもの読書活動にかかわる人材の育成



ひろげよう子どものせかい

●保育所・幼稚園

- ・絵本や物語にふれる機会の提供
- ・保育士、教員の意識の高揚
- ・保護者への啓発

●学校

- ・教職員の研修の機会の提供
- ・教育課程への読書活動の位置付け
- ・読書時間の確保
- ・図書委員会活動の活性化
- ・保護者や地域との連携

●児童館・放課後児童クラブ

- ・絵本や物語にふれる機会の提供
- ・児童館等の職員の意識の高揚
- ・お知らせや保護者会をとおして家庭での読書を推進
- ・市立図書館と児童館の合同事業の開催



「いつでも・どこでも・だれでも」
読書を楽しむことができる環境を!!

